

アフリカと向き合う



〈5〉

マルチリンガルアウトソーシング

オフショアリング

フラット化

コロンブスはスペイン国王と女王に、世界は丸いと報告し、それを初めに発見した人物として、歴史に名をとどめてい

「私は帰国して自分の発見を妻だけに、それもささやき声で伝えた。「ねえ、きみこっそりと打ち明けた。「世界は平ら(フラット)なんだ」。トーマス・フリドマン著『フラット化する世界』より。

インターネットなどITの進展により世界は瞬

発注を始めた。パートナー募集を告知した同社の英文ホームページを通じ

人材資源に大きな可能性 多言語で対応可能



シモール・アウトソーシングのマルチリンガル業務センター

て、連絡が無い込んでたのがきっかけだ。

パートナー選定

パートナーの選定は同社独自のパートナー評価システムを利用。選定チェックリストをクリアした企業に対しトライアルを実施。納期、品質、コミュニケーション能力を評価して選定する。

こうして選定したモロッコ企業が「コールインアウト」。モロッコはフランスの旧植民地で、フランス語が普及し、欧州企業を中心にコールセンター業務を展開。モロッコを含め、アフリカ企業の幹部の大半は欧米の一流大学で教育を受け、一流企業に勤務した経験を持つ。英、仏、伊、独、

アラビア語と、多言語での対応が可能。石倉社長は「アフリカの人材資源に大きな可能性を感じている」と話す。

コストが評価

米国コンサルティンク社のA. T. カーニーの「各国のオフショアリング先としての魅力度」(07年)によるとトップ3はインド、中国、マレーシアの順。全50カ国中、アフリカ勢は13位エジプト、25位モーリシャス、26位チュニジア、27位ガーナ、31位南アフリカ、36位モロッコ、39位セネガルの7カ国が健闘している。「ビジネス環境「人材と技術」よりも「コスト」の評価が高い。課題は「アフリカだから」ということで特に変わりはなく」と石倉社長。ただし「休日是一般に木曜午後と金曜。ラマダン(断食月)期間中は残業がほとんど期待できない」。モロッコなどイスラム教国でのビジネスにいくつか注意が必要だとしている。

【「ロメモ」マルチリンガルアウトソーシングは、香港を拠点にエンターテインメントビジネスを手がけてきた石倉良和社長が04年11月に起業したベンチャー。従業員は32人。BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)に特化したオフショアリングの専門商社を掲げている。印刷会社やウェブ制作会社などから、システム開発やホームページ記述言語(HTM L)のコーディング、データ入力、画像切り抜きなどの作業を受託し、中国などアジアを中心に海外のパートナー企業に発注している。

国際・中国・アジア